

Judo 便り from ワールド！！

日本国政府は、第2回対中東文化交流・対話ミッションを9月9日（木）から18日（土）まで、ヨルダン（アンマン）とイラン（テヘラン）に派遣し、スポーツ界を代表して山下泰裕氏（東海大学教授、IJF教育コーチング理事）が団員として参加し各地で講演、柔道指導を行った。

このミッションは、山内昌之氏（東京大学教授）を団長に、団員は山下氏の他に田波耕治氏（国際協力銀行副総裁）、五百旗頭真氏（神戸大学教授）、榎原美樹氏（日本放送協会バンコク支局特派員）の計5名。

1. ミッションの目的及び経緯

（1）昨年5月の小泉総理のサウジアラビア、エジプト訪問の際、イスラム世界との相互理解を増進し、安定した関係を構築・維持していくことに合意された。これを受け、我が国と中東諸国の文化交流・対話の促進を目的に第1回ミッションを昨年9月～10月に派遣し、「伝統と近代化」というテーマの下、各地でシンポジウム、対話を行った。

（2）今回のミッションは、第1回ミッションが端緒を開いた対話を継続することにより、伝統的価値と近代化の相克に係る我が国の経験に対する理解をさらに深め、中東諸国が現在直面する問題の解決に資するとともに、両者間の幅広い層における相互理解の促進を通じて、我が国の対中東外交の基盤を強化することを目的として派遣された。

2. 山下泰裕氏による柔道指導

（1）アンマン ヨルダン柔道連盟主催により、9月11日、フセイン・スポーツシティにて開催された。内容は、ヨルダン人柔道家約60名を対象として、山下氏により講演や実技指導が行われた。女性も含め、小学生から大学生、コーチに至るまで幅広い年齢層が参加し、有意義な交流・技術指導の機会となった。



(2) テヘラン　イラン柔道連盟主催により、9月16日、イラン柔道連盟附属道場にて開催された。内容は、小学生からコーチまでを含むイラン人柔道家約100名を対象として、山下氏により講演や実技指導が行われた。会場には300人近い観客が詰めかけ、現地の柔道への関心の高さが伺えたとともに、スポーツ交流を通じた有意義な相互理解の機会となった。

3. その他ミッションの内容

シンポジウムが各地で行われ、山下氏は「柔道を通じた国際交流」のテーマで講演を行った。要人表敬も各地で行われ、ヨルダンではハッサン王子(9月11日、於：ラガダーン宮殿)、ハダル政府報道官兼文化大臣代行(女性)(9月13日、於首相府)、イランではアブタヒ副大統領(9月14日)、メフルアリーザーデ副大統領兼体育庁長官(9月14日)、シヨアイー文化・イスラム指導省次官(9月14日)と意見交換を行った。



<以下IJFウェブサイト記事抜粋：9/25/04>

山下泰裕IJF教育コーチング理事は9月16日テヘランを訪れ、午前にはイランのスポーツ関係高官(スポーツ体育教育大臣、イランオリンピック委員会会長、イラン柔道連盟会長および副会長など)と談話、午後には、イランの柔道家達に技術指導の講義ならびに自らの柔道人生や柔道経験について講演が行われました。数多くの柔道支持者が熱心に聞き入り、多数の報道機関によって報じられました。理事の価値ある指導内容に加え、理事の言葉は聴衆に強い印象を与えました。とりわけ、「チャンピオンになるための努力は良いことですが、より評価されるべきは真の人間となる為の挑戦なのです。」との発言が印象的でした。